



令和4年3月30日  
市民局 防災・危機管理部

市政記者各位

## 帰宅困難者対策 「事業所における帰宅困難者対策ガイドライン」及び、 「一時滞在施設運営ガイドライン」の作成について

福岡市では、大規模地震等の発生に伴う帰宅困難者対策は、「都市再生特別措置法」に基づき、平成28年3月に策定した「天神・博多駅周辺地区都市再生安全確保計画」により、発災時における滞留者・来訪者の安全・安心を確保するため、「一時滞在施設（退避施設）等の確保」「避難誘導・徒歩帰宅者の支援」など5つの重点項目を掲げ、官民で役割分担を定め、連携して取り組むこととしております。

今回、この取り組みを具体化するため、下記のとおり2つのガイドラインを作成しましたのでお知らせします。

なお、2つのガイドラインについては、下記3のとおり市ホームページに掲載します。

### 1 「事業所における帰宅困難者対策ガイドライン」

#### (1) 内容

大規模地震等発生時の「一斉帰宅抑制の基本原則」の周知徹底を図るため、事業者が具体的に取るべき内容を取りまとめた手順書。

#### (2) 対象

福岡市内都心部の各事業所

#### (3) 一斉帰宅抑制の啓発チラシ

別添のとおり

### 2 「一時滞在施設運営ガイドライン」

#### (1) 内容

共助の取組みとして、帰宅困難者が安全に帰宅開始できるまでの間、民間ビル等の施設管理者が施設屋内のエントランスホール等に帰宅困難者を一時的に受け入れる「一時滞在施設」の運営を行うにあたって、事前に各施設で運営マニュアルを作成しておくための手順書。

#### (2) 対象

対象は、福岡市と「災害時における施設等の提供協力に関する協定」※を締結した民間の施設管理者等。

(※発災時に帰宅困難者を自施設に一時的に受け入れる協定)

### 3 市ホームページ（令和4年3月30日（水）15時 公開）

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/bousai/hinanmain.html>

#### 【問い合わせ先】

福岡市市民局防災・危機管理部 地域防災課

担当：中村、中島 TEL:092-711-4156（内線 1788）

従業員のみなさんに周知徹底を



# STOP!!

## 災害時の 一斉帰宅

### 大規模災害時の帰宅抑制の 必要性を知っていますか?



平成17年福岡県西方沖の地震  
(現在は福岡県北西沖)  
出典：九州大学

1

## 基本原則 むやみに移動を開始しない

大規模地震などの発生時には、公共交通機関の運行停止などにより、多くの帰宅困難者の発生が予想されます。帰宅困難者が一斉に移動を始めると、混雑による集団転倒や建物の倒壊・落下物による怪我などのおそれがあるとともに、緊急車両が通行できなくなるなど、救助・救急・消火活動の妨げになるおそれがあります。それらを防ぐために、各事業所において従業員の一斉帰宅の抑制をお願いします。



2

## 時間帯別 行動パターンのルール化

災害はいつ起こるかわかりません。出勤時・就業時・帰宅時など、発災時間帯を想定した行動ルールを策定し、周知徹底しましょう。



### 出勤時間帯など発災時間帯別に事業所がとるべき行動

#### 基本ルール



#### 出勤時間帯に発災

- ・原則、従業員等に自宅待機又は自宅に戻るよう指示。
- ・通勤途中で事業所に近い場合は、職場などで安全確保を指示。
- ・災害対応や業務継続を行う上で必要不可欠な人員は除く。



#### 就業時間帯に発災

- ・従業員等に施設内待機を指示。
- ・外出中の従業員等は周辺の安全な場所で待機を指示。
- ・来所者を施設内の待機スペースに誘導。



#### 帰宅時間帯に発災

- ・原則、従業員等に事業所待機又は事業所に戻るよう指示。
- ・ただし、帰宅途中で、自宅に近い場合は、自宅などで安全確保を指示。

# 3

## 目安は「3日分」 飲料水などの備蓄を

発災後3日間は、救助・救急活動を優先させる応急対策活動の期間とされています。  
従業員の一斉帰宅が救助・救急活動の妨げとならないよう、従業員を施設内に待機させられるようにしておくことが重要です。最低3日分を備蓄するとともに、備蓄場所や配布方法についても考えておきましょう。

### 3日分の備蓄量の目安

#### 水 飲料水

1人あたり 1日3リットル= (計9リットル)

#### 主食 アルファ化米、クラッカー、乾パン、カップ麺

1人あたり 1日3食= (計9食)

#### 毛布 毛布、保温シート

1人あたり 1枚

#### 留意点

- ・震災時の影響の長期化に備え、3日以上以上の備蓄についても検討しておく。
- ・共助の観点から、外部の帰宅困難者等(来社中の顧客・取引先など)のために、例えば10%程度の量を余分に備蓄することも検討しておく。



#### その他の物資(必要性が高いもの)

- ・簡易トイレ、衛生用品(トイレトペーパー等)
- ・敷物(ビニールシート等)
- ・携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池
- ・救急医療薬品等

# 4

## 安否確認・ 情報収集手段の確保

発災時における従業員との連絡手段・手順をあらかじめ決めておくことが必要です。  
従業員が安心して施設内に待機できるよう、家族等との安否確認手段を従業員へ周知しておくことも大切です。  
被害状況など、正確な情報の収集手段についても事前に確認しておきましょう。



### 安否確認

### 福岡市の防災アプリ「ツナガル+」

災害時は、一斉帰宅抑制により施設内待機をしている場合でも、

- ・従業員の安否確認手段として活用できます。
- ・自宅のある地域の避難情報や家族の安否確認手段としても使えます。
- ・位置や被災状況を発信し、市に支援を求めることができます。
- ・市からの支援情報や災害に関するお知らせの入手ができます。

平時は、事業所の電子掲示板として情報発信・情報交換などに利用できます。

#### 使い方はコチラ

動画(YouTube)で分かりやすく解説



#### アプリをダウンロード



App Store版



Google Play版

### 災害用伝言ダイヤル(171)

安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです(災害時に限定して利用が可能)。

### 171を ダイヤル

#### 録音の時

- ①「1」をダイヤル
- ②自分の番号をダイヤル
- ③録音する

#### 再生の時

- ①「2」をダイヤル
- ②相手の番号をダイヤル
- ③再生する

### 情報収集(例)

#### 福岡市ホームページ(防災情報)

災害に関する情報やハザードマップ、事前の備えなど、さまざまな防災情報を確認することができます。

福岡市 防災情報

検索

#### 福岡市防災メール

登録しておく、避難情報や気象・地震情報などをメールで配信します。

福岡市 防災メール

検索

[福岡市LINE公式アカウント]



LINEからも情報が取得できます。

